

令和3年度第1回番組審議委員会議事録

1 発送年月日 令和3年8月2日（月）

※今回は新型コロナウイルス感染症対策のためリモートで開催。事前にデータ便または郵送にて資料を送付した。

2 委員の出席

- ① 委員総数 9名
- ② 出席委員数 8名（審議資料が返送されてきた委員）
- ③ 出席委員 小林慶太郎（四日市大学 教授）
服部洋明（メガネの隆明堂 店主）
出口 功（菰野町スポーツ・文化振興会 事務局長）
三輪栄子（（公財）四日市市シルバー人材センター）
堀内あかね（菰野町観光協会）
矢田敏浩（（公財）四日市市文化まちづくり財団
四日市市文化会館）
笹岡邦清（暁石齋株式会社 取締役）
大塚徳人（四日市大学 環境情報学部 学生）
- ④ 欠席委員 藤井博光（ライブハウス フルハウス 元店主）
- ⑤ 放送事業者側出席者氏名 諸岡 太（CTY-FM 局長）
山本浩之（CTY-FM チーフディレクター）

3 議題

審議番組 番組名 リョータと[ひ]~ちゃんであニラジつくろーぜ！
※スポンサー提供番組
放送日時 令和3年7月22日（木）
20時00分頃～20時59分
※本放送分

5 審議概要

CTY-FM 局長 諸岡太より今年度、第1回目の番組審議委員会開催のお知らせと、新型コロナウイルス感染症対策のため、今回の開催も自粛しリモートでの開催の旨をご説明の文書とともに審議資料音源、審議用紙など一式を発送またはメールにてお送りしました。委員に到着後、ご意見、ご感想などを審議して頂き、ご返送いただきました。以下はその内容をまとめたものです。尚、今年度もコロナ禍の中、思うようにお集まり頂く事が困難な状況である事と今回の開催時期が遅れてしまった事へのお詫びをあわせてお伝えし、引き続き番組審議委員会へのご協力をお願いした。

7 審議内容

会社：今やアニメは日本が自信を持って、世界に向けて発信する押しも押されもしない文化です。クールジャパンに代表されるように、もはやアニメはサブカルチャーからポップカルチャーへと昇華したと言っても過言ではありません。そんな子どもから大人まで世代を超えて愛され続けるアニメ・特撮の話題を中心に、プラモデル制作のプロモデラー・リョータさんをパーソナリティーに迎えて、リスナーのみなさんからのリクエストをもとに、アニメ・特撮にまつわる曲を流しながらおしゃべりするアニソン（アニメソング）ラジオ番組です。

番組聴取： 番組名 リョータと[ひ]～ちゃんであニラジつくろーぜ！
※スポンサー提供番組
放送日時 令和3年7月22日（木）
20時00分頃～20時59分
※本放送分

- 委員：番組のタイトルコールまで前フリトークが長く、たまたま聞いたりリスナーは何の番組か理解出来ないのではと思います。
- 委員：ゲストとのクロストークが男声3人となりとても聞き分け難いです。個々を聞き分けられるような工夫が欲しいです。
- 委員：アニソン愛に満ち溢れている事がとても感じられ、CTY-FMのオリジナリティと存在感が十分発揮されている番組ですね。
- 委員：パーソナリティーのトークがとても滑らかで耳障り良く聞きやすいと思います。
- 委員：番組内容などもコアであり、また世代間のギャップの加減か話している単語が意味不明であったりします。
- 委員：1時間番組ですが中だるみする事もなく楽しく聞けました。
- 委員：ゲストの滑舌があまり良くなく一部会話が聞き取り難かったです。
- 委員：アニソン好きの方であれば、かなり広い世代に支持される番組だと思います。
- 委員：歌手紹介だけでなくバックコーラスの紹介や放送回によっては特集などがあると面白いのではないのでしょうか。
- 委員：アニソンに興味のない人もリスナーに取り込める可能性を感じました。
- 委員：番組の雰囲気がとても明るく、トークもポジティブな内容なので、聞いていてとても元気をもらえる番組だと思います。
- 委員：番組の話の流れ上の事なので、あまり気にしすぎかもしれませんが、トーク中に一部リスナーに不快感を与えるような表現がありました。もうちょっと配慮があるといいなと思いました。
- 委員：パーソナリティーのトークの内容や話し方はとても分かりやすく、全体的には好印象な番組だと思います。

- 委員：メインのパーソナリティーとリョータさんの掛け合いはとても面白いのですが、少し話が長いかなと思います。
- 委員：例えばリスナーと電話する（電話出演してもらう）などコーナーを作って番組に少しメリハリをつけると良いと思います。
- 委員：スポンサー提供番組ということですが、提供スポンサー名がどこにも出てこなかったです。もっと宣伝してもよいのでは。
- 委員：トーク → 曲 → トーク → 曲 の番組構成では1時間番組として、少ししんどいかなと思います。
- 委員：昨年も議案に上がった番組だと思いますが、その時よりも番組のクオリティーは上がっていると感じました。
- 委員：曲のリクエストにSNSを活用したりと、若い人達やコアなファンに受けるような工夫が凝らされていると感じました。
- 委員：アニメやプラモデルに興味のない人を巻き込むような情報があればもっと良いのではないのでしょうか。
- 委員：他媒体（ツイキャス）とのメディアミックスにより番組との距離感が近く、番組に参加しやすい印象です。
- 委員：ツイッターなどのSNSも利用しているので現代風な番組だと感じました。
- 委員：番組冒頭のオープニングがやはり少し長い印象を持ちました。
- 委員：スポンサー番組との事ですが、その割にスポンサー感が強くなく、それが逆に純粋にラジオ番組として楽しめました。
- 会社：貴重なご意見をたくさんありがとうございました。まだまだご意見があろうかとは思いますが、また、ご意見やご感想などがございましたらその都度、ご教授いただきたく存じます。今回はリモート開催ご協力いただきありがとうございました。

次回開催日 令和3年10月頃にリモート開催を予定

8 審議会の答申などに対してとった処置

9 記事の公示

CTY-FM ホームページにて公示